

# 姫路で見る 2021年6月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。



- 6/2 下弦 
- 6/10 新月 
- 6/18 上弦 
- 6/25 満月 

6月15日 21時の空  
※月は書いていません

空の西半分に春の星、東半分に夏の星が見えています。見つけやすいのは、北西の空の北斗七星、西の空のしし座、南西の空高く見える「春の大三角」です。

東から北東にかけて「夏の大三角」も見えるようになりました。3つの星は、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブです。7月7日は七夕ですが、七夕の織姫星はベガ、彦星はアルタイルです。この2つの星の間を通り、「夏の大三角」に重なるように天の川が流れます。梅雨の最中ですが、月のない梅雨の晴れ間には、思いのほか星がきれいに見えます。明かりが少ない場所では天の川も見えるかもしれません。七夕の夜でなくても、七夕の星や天の川は空にあるので、この機会にぜひさがしてみてください。また、南東の空の低いところにさそり座のアンタレスが見えます。アンタレスは「アンチ・アレス」からきている名前で、「火星の敵」という意味です。赤く輝くアンタレスと火星を見比べて見ると面白いかもしれません。

火星は西北西の空に見えます。月末には21時頃に沈み、そろそろ見納めとなります。